

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事		平成 27年 7月 15日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 〒623-0054 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20番地		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 日東精工株式会社 代表取締役社長 材木 正己
環境マネジメントシステムの名前		ISO 14001
適用範囲		本社工場・八田工場・城山工場・制御システム工場
導入年月日		2000年5月19日(本社・八田) 2008年7月4日 認証範囲変更(城山・制御追加)
認証番号		E0954 エイエスアール(株)
基本方針		企業活動を展開する上で、環境保全を最重点とし、地球環境と地域環境を守り、社会と調和して豊かな社会の実現に貢献することを目的とします。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)		【2015-2018年中期目標】 別紙1 【2014年目標】 1 廃棄・製品不良率、クレーム(社内外)件数を前年度比30%を削減する 2 廃棄物のリサイクル化を進める 3 環境リスクの低減 4 環境にやさしい業務を推進する 【2015年目標】 1 CO2排出量を489.9t-CO2(6.4%)削減する(2014年目標比) 2 廃棄物排出量を削減する 3 環境配慮型製品(エコプロダクツ)を拡大する 4 グリーン調達を推進する 5 製品含有化学物質管理を強化する 6 地下汚染対策及び水質汚濁防止を強化する
目標を達成するための取組の内容		【2014年取組内容】詳細並びに具体的数値については未公表 1 (1) 廃棄重量を30%以上削減する (2) 製品不良を30%以上削減する 2 (1) 廃アルカリを再利用する (2) 廃棄物のゼロエミッションを目指す 3 (1) 排水排水濃度2mg/L以下を維持する (2) 薬品、油などの漏洩防止、オイルパン設置、漏れ対策を実施する 4 (1) 省エネ、省資源等環境負荷のより少ない生産活動へ改善を進める (2) 工場の美化、不要物の撤去、廃棄物の削減と分別の徹底を図る (3) 3M(ムリ、ムダ、ムラ)の排除を行う (4) 地域や住民に配慮した作業を行う 【2015年取組内容】 1 (1) 電力消費量を110.7万kWh削減(2014年目標比) (2) 灯油消費量を66.6kℓ削減(2014年目標比) (3) LPG消費量を4.7ton削減(2013年実績比) ※ 対売上原単位で1%以上削減(2014年目標比) 2 (1) 6Rの推進 (2) 工程内及び完成品不良の削減 ※ 対売上原単位で1%以上削減(2014年実績比) 3 (1) 環境性能を向上した製品設計・開発 4 (1) 環境負荷がより少ない物品調達 5 (1) 適切な管理のためのしくみ及びルール設定 6 (1) 排水施設、貯油施設、薬液類の管理強化 (2) 緊急事態対応マニュアルの整備と訓練実施
目標を達成するための取組の進捗状況		【2014年4-12月進捗状況】 1 不良対策委員会にて廃棄及び不良削減への取り組み 2 廃棄物委員会にてリサイクル化への取り組み 3 水質委員会にて排水監視、地下漏洩対策への取り組み 4 省エネ委員会にて省エネへの取り組み【項目(1)】 4 省資源委員会にて省資源への取り組み【項目(1)】 4 各ブロック、各部門を中心に取り組み【項目(2)(3)】 4 人事総務部、生産技術部を中心に取り組み【項目(4)】 【2015年1-3月進捗状況】 1 省電力委員会、省エネ委員会、生産技術部にて削減への取り組み 2 廃棄物委員会、省資源委員会、日東不良対策委員会にて削減への取り組み 3 各開発・設計部門を中心に取り組み 4 各調達・購買部門を中心に取り組み 5 各開発・設計・調達・購買部門を中心に取り組み 6 各ブロック・部門にて取り組み
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価		【2014年4-12月成果】 *対前年同期比 1 不良廃棄: 8.7%減 廃棄率(対投入材料): 12.2%減 2 廃アルカリ: 15.6%減 原単位(売上): 17.0%減 3 組立管理継続 4 照明LED化、省電力空調化、遮熱塗料など実施 【2015年1-3月成果】 *対前年同期比 1 CO2排出: 1.6%増 原単位(売上): 0.1%減 2 廃棄物リサイクル(品除く): 23.1%減 原単位(売上): 24.4%減 3-6 各組織にて把握 【全体評価】 本年1-3月のCO2排出量は若干増加であるが、原単位(売上)では2014年、2015年共に全項目において減少傾向にあり良好である。
事業活動に係る法令の遵守の状況		【2014年4-12月遵守状況】 特定施設の届出: なし 法定責任者の届出: なし 環境測定: 大気、水質、騒音、振動、浄化槽、他 報告: 廃棄物報告、省エネ報告、有害物質報告、特定化学物質報告、温室効果ガス報告、リサイクル促進報告、土壌汚染報告、他 【2015年1-3月遵守状況】 特定施設の届出: なし 法定責任者の届出: なし 環境測定: 大気、水質、騒音、振動、浄化槽 報告: なし
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容		【内部監査】 10月6日-11月7日 監査実施 不適合...0件、改善の機会...23件 【経営者による見直し】 12月18日 社長レビュー実施 「生産性向上などの企業経済利益活動を活発化し、企業価値を向上させることが環境価値向上の実現にもつながる。ファスナー事業部を重点に生産性向上について取り組みを強化するが、環境面での成果検証をすること」 【外部監査】 3月3-5日 更新審査 評価B...3件、同C...1件 4月1日 認証機関へ指摘事項の改善報告 4月21日 認証決定通知を受ける(有効期限: 2018年5月18日)

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。